

標茶町週休2日モデル工事実施要領

(令和7年4月改定)

1 目的

昨今、建設業界においては、担い手不足が懸念され、若手の技術者や技能労働者の確保・育成を中心とした将来の担い手確保が重要な課題であり、若年技術者等の入職促進策として、建設現場における「週休2日」の確保などによる働き方改革の実現が求められている。

また、労働基準法の改定（平成31年4月施行）により、建設業において令和6年4月より罰則付時間外労働規制が適用となり、働き方改革として週休2日の確保が重要な課題となっている。

建設現場における「週休2日」を確保していくに当たり、週休2日による施工の実施方法、提出資料、その他必要な事項について定めるものである。

2 適用

令和6年（2024年）4月1日以降の積算基準日から適用する。

3 対象工事

①標茶町が発注する工事のうち、予定価格が1,000万円以上、かつ、工期が3ヶ月（90日）以上の全ての工種における建設工事を対象とする。

ただし、災害復旧または災害復旧に準ずるような緊急性を要するものなど、週休2日による施工の実施に適さない工事は除くものとするが、本要領による週休2日工事の施工を妨げるものではない。

なお、建設工事に準じて積算をする委託業務についても対象とし、本要領により実施するものとするが、巡回パトロールなどの通年維持業務委託は除く。

週休2日による工期設定とは、準備・後片付け期間や不稼働日（休日、降雨・降雪日、その他の要因による作業不能日）を適正に見込んだものである。従って、準備・後片付け期間や、不稼働日を適正に見込めない工期設定は、これに該当しないので留意すること。

対象工事は次のいずれかの方式を基本とする。

1) 週休2日モデル工事【現場閉所】

現場閉所が可能なすべての工事を対象とする。

各所管における積算要領等に基づき、週休2日による工期設定を行う。

2) 週休2日モデル工事【交替制】

社会的要請や時間的な制約などにより現場閉所を行うことが困難な工事については「交替制」に基づき休日確保を推進する。

なお、交替制は土木工事のみとし営繕工事には適用しない。

4 週休2日とは

1) 週休2日モデル工事【現場閉所】

本モデル工事における「週休2日【現場閉所】」とは、対象期間において、土日・祝日に関わらず、4週8休以上の現場閉所を行うことをいう。

対象期間とは、契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間のことである。

工事着手日とは、実際の工事のための現場における準備作業（現場事務所等設置や測量等）に着手する日をいう。工事完成日とは、後片付け作業（出来形測量や現場事務所、保安施設等の撤去等）が全て終了した日をいう。なお、年末年始6日間及び夏期休暇3日間、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は対象期間に含まない。

4週8休以上とは対象期間内の現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。

<現場閉所率の算定方法>

$$K(\%) = A / (B - C)$$

※K：現場閉所率（%）

A：現場閉所日数（ただし夏期休暇3日間及び年末年始6日間の期間分を除く）

B：週休2日確認対象期間日数（工事着手日から工事完成日までの期間）

C：Bのうち、夏期休暇3日間及び年末年始6日間と重複する日数

2) 週休2日モデル工事【交替制】

本モデル工事における「週休2日【交替制】」とは、対象期間において、技術者や作業員などが交替しながら4週8休以上の休日確保を行うことをいう。

対象期間とは、契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間のことである。工事着手日とは、実際の工事のための現場における準備作業（現場事務所等設置や測量等）に着手する日をいう。工事完成日とは、後片付け作業（出来形測量や現場事務所、保安施設等の撤去等）が全て終了した日をいう。

4週8休以上とは、対象期間内の技術者や作業員など平均休日日数の割合（以下、「休日率」という。）が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。

5 現場閉所とは

現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場作業を行っていない日をいう。

6 発注方式

週休2日を基本とし、受注者希望型での発注とする。

7 補正方法

当初予定価格から4週8休を前提とした経費の積算を行い、現場閉所の達成状況の結果、4週8休に満たない場合は減額の設計変更を行う。

8 モデル工事の実施における留意事項

1) 週休2日確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工の実施にあたってはその趣旨に沿うよう努めるものとする。

2) 契約後、受注者が週休2日による施工を希望したが、これを履行することができなくても、工事施工成績評定において減点等の措置は行わない。

3) 総合評価落札方式において、週休2日の実施に関する技術提案・簡易な施工計画における技術的所見は、加点評価の対象としないものとする。

4) 受注者は、計画的な休日の取得に努めるものとするが、現場の進捗状況等から降雨、除雪等による予定外の休工日を【現場閉所】の現場閉所日及び【交替制】の休日とすることも可とする。

5) 受注者は、地元対応や緊急対応など、やむを得ない場合は、監督員と協議のうえ、振替休日等により休日を取得することを可とする。

なお、現場内の安全確認等が必要な場合は、最低限の人員により対応することとする。

6) 発注者は、週休2日による施工が適切に実施されているか、必要に応じて受注者への聞き取りや、受注者からの関係書類の提示により確認を行うものとする。

※関係書類として、日報、出勤簿、作業日誌、安全日誌等が考えられる。

7) 発注者は、災害対応等の緊急時を除き、休日の前日などに休日の作業が発生するような指示等を行わないこととする。

8) 週休2日モデル工事【現場閉所】において、現場閉所率が4週8休に満たない場合は補正対象経費を減額補正する。

週休2日を確保した工事は、施工成績評定において加点評価を行う。

<工事別の補正対象経費>

土木工事：労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費、現場管理費

営繕工事：労務費

9) 週休2日モデル工事【交替制】において、休日率が4週8休に満たない場合は補正対象経費を減額補正する。

なお、労務費の補正が明らかになっていない単価などについては補正の対象としない。

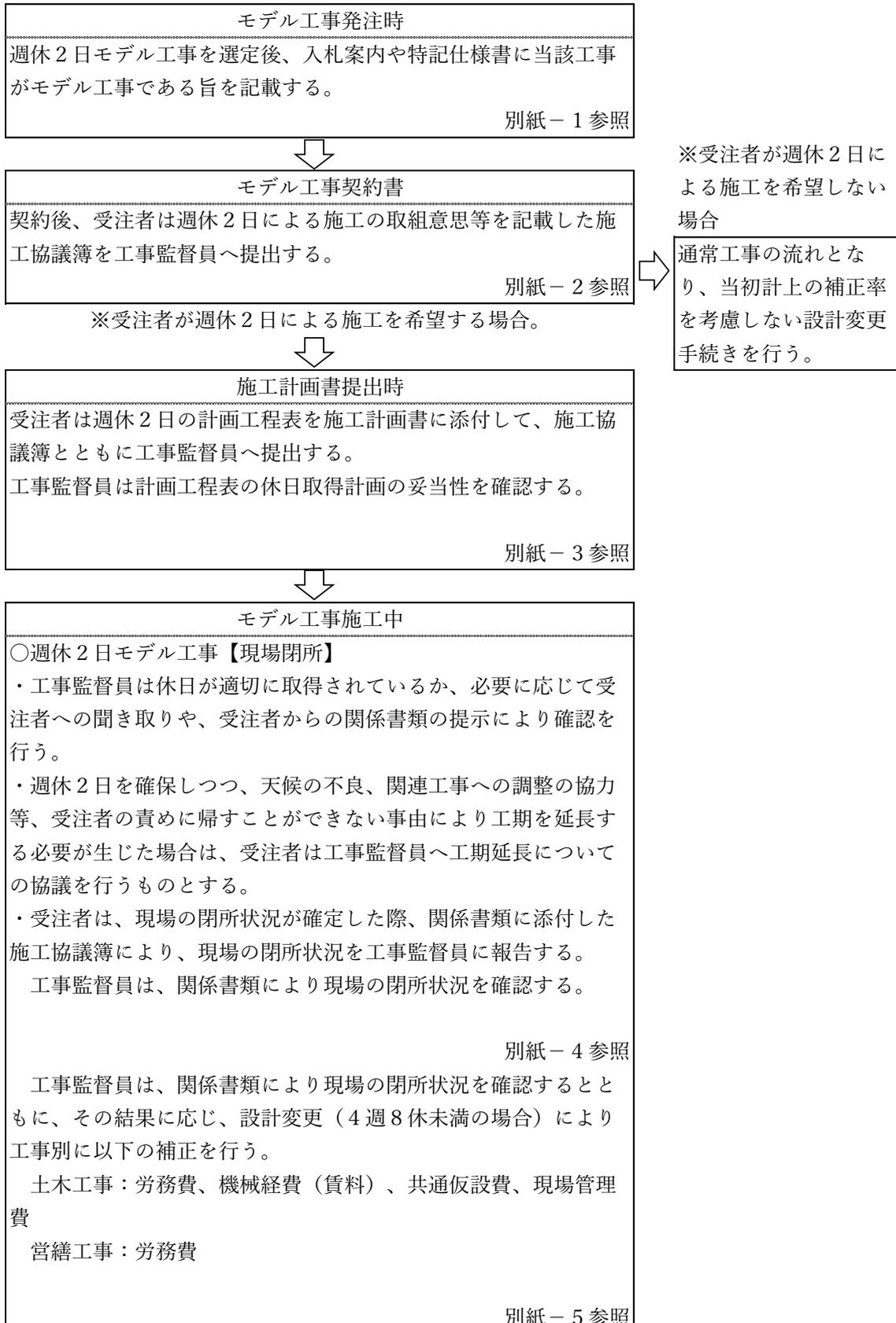
週休2日を確保した工事は、施工成績評定において加点評価を行う。

10) 週休2日モデル工事【現場閉所】において、受注者が週休2日に取り組む場合、各経費の補正は対象期間全体に対する週休2日の達成状況により決定するものとするが、建設業の働き方改革を推進する観点から、受注者は1ヶ月ごとに4種8休以上の現場閉所が達成できるよう努めるものとする。

9 その他

この要領に定めのない事項については、必要に応じて受発注者の協議により定めるものとする。

10 モデル工事実施フロー



○週休2日モデル工事【交替制】（土木工事のみ）

・工事監督員は技術者や作業員などの休日が適切に取得されているか、必要に応じて受注者への聞き取りや、受注者からの関係書類の提示により確認を行う。

・週休2日を確保しつつ、天候の不良、関連工事への調整の協力等、受注者の責めに帰すことができない事由により工期を延長する必要がある場合は、受注者は工事監督員へ工期延長についての協議を行うものとする。

・受注者は、現場の閉所状況が確定した際、関係書類に添付した施工協議簿により、技術者や作業員などの休日状況を工事監督員に報告する。

別紙－6 参照

・工事監督員は、関係書類により現場の休日状況を確認するとともに、その状況に応じ、設計変更（4週8休未満の場合）により、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費、現場管理費の補正を行う。

別紙－7 参照



モデル工事完了後

・工事監督員は、週休2日による施工の実施が確認できた場合、施工成績評定において評価する。

別紙－8 参照

附則

この要領は令和6年4月1日から施行する。

この要領は令和7年4月1日から施行する。

1 入札案内書の記載例

別記を入札案内書に添付するものとする。

別記

週休 2 日モデル工事に係る指名競争入札について

この工事は、「週休 2 日モデル工事」の対象工事であるため、次の事項を承認のうえ、競争入札に参加してください。

1. 受注者は、週休 2 日による施工を希望する場合、契約後、発注者へ協議を行い、協議が整った場合に週休 2 日による施工を行うことができる。
2. 実施方法等は特記仕様書によるものとする。

2 特記仕様書の記載例

特記仕様書に以下事項を記載することとする。

※週休 2 日モデル工事【現場閉所】の場合

○週休 2 日モデル工事【現場閉所】の実施について

1. 本工事は、「週休 2 日モデル工事」の対象工事である。
2. 受注者は、週休 2 日による施工を希望する場合、契約後、発注者へ協議を行い、協議が整った場合に週休 2 日による施工を行うことができる。
3. 週休 2 日とは、対象期間において、土日・祝日に関わらず、週休 2 日（4 週 8 休）以上の現場閉所を行うことをいう。
対象期間は、契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始 6 日間及び夏期休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は対象期間に含まない。
4. 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
5. 週休 2 日（4 週 8 休）以上とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」という。）が 28.5%（8 日／28 日）以上の水準に達する状態をいう。

6. 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
7. 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - 1) 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
 - 2) 受注者は、実施結果を関係書類（日報、出勤簿、作業日誌、安全日誌等）により発注者へ報告する。
8. 週休2日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
9. 週休2日による施工を希望した工事は、現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は設計変更（減額補正）を行う。なお、労務費分が明らかとなっていない単価等については、補正の対象としない。
 - 1) 現場の閉所状況
4週8休以上（現場閉所率が28.5%（8日/28日）以上）の場合
 - 2) 補正方法
当初予定価格から4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乘じ、現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、請負代金額を減額変更する。なお、工事着手前に週休2日に取り組むことについて協議が整わなかったもの（受注者が週休2日の取組を希望しないものを含む）については、その時点で請負代金額を減額変更する。

※週休2日モデル工事【交代制】の場合（土木工事のみ）

○週休2日モデル工事【交替制】の実施について

1. 本工事は、「週休2日モデル工事」の対象工事である。
2. 受注者は、週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者へ協議行い、協議が整った場合に週休2日による施工を行うことができる。
3. 週休2日とは、技術者及び作業員などが交替しながら週休2日（4週8休）以上の休日の確保を行ったと認められる状態をいう。
4. 対象期間は、契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間をいう。
5. 週休2日（4週8休）以上とは、対象期間内の平均休日日数の割合（以下、「休日率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。
6. 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目

指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。

7. 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。

1) 受注者は、技術者及び作業員などの休日確保状況を証明する方法を具体的に明示した施工計画書を発注者へ提出する。

2) 受注者は、実施結果を関係書類（日報、出勤簿、作業日誌、安全日誌等）により発注者へ報告する。

8. 週休2日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。

9. 週休2日による施工を希望した工事は、技術者や作業員などの休日状況を確認後、4週8休に満たない場合は設計変更（減額補正）を行う。なお、労務費分が明らかとなっていない単価等については、補正の対象としない。

1) 現場の休日状況

4週8休以上（休日率が28.5%（8日/28日）以上）の場合

2) 補正方法

当初予定価格から4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乘じ、休日率の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、請負代金額を減額変更する。なお、工事着手前に週休2日に取り組むことについて協議が整わなかったもの（受注者が週休2日の取組を希望しないものを含む）については、その時点で請負代金額を減額変更する。

様式-工監4-2

様式は各所管の様式を使用してください！

記載例

工事施工協議簿

契約後打合せ時

<input type="checkbox"/> 指示、 <input type="checkbox"/> 承諾、 <input checked="" type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 提出、 <input type="checkbox"/> 報告、 <input type="checkbox"/> 通知 書 (第 〇 回)						
工 事 名		〇〇××線 道路改良工事				
工種、細目等						
<input type="checkbox"/> 指示、 <input type="checkbox"/> 承諾 <input checked="" type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 報告、 <input type="checkbox"/> 通知 事 項	週休2日工事について協議します。					
	例1) 当工事において、週休2日による施工を希望します。					
	例2) 当工事において、週休2日による施工は実施しません。					
<input type="checkbox"/> 添付資料名		<input type="checkbox"/> 図面 全 葉				
【工事監督員】 令和 6 年 〇 月 × 日 上記事項について <input type="checkbox"/> 指示、 <input type="checkbox"/> 承諾、 <input checked="" type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 通知、 <input type="checkbox"/> 受理 する。 <input type="checkbox"/> 特記事項 例1) 週休2日による施工を実施してください。また、週休2日の計画工程表を提出願います。 例2) 労働基準法第32条(労働時間の原則)及び第35条(休日)を遵守のうえ、施工を実施してください。なお、4週8休以上の経費の補正を考慮しない設計変更(減額)を行います。						
<input type="checkbox"/> 工事内容の変更の対象と <input type="checkbox"/> しない <input type="checkbox"/> する。						
【受注者】 令和 6 年 〇 月 × 日 上記事項について <input checked="" type="checkbox"/> 了解しました。 <input type="checkbox"/> 承諾願います。 <input type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 通知、 <input type="checkbox"/> 受理 します。 <input type="checkbox"/> 特記事項						
確認欄	現場代理人	主任技術者	監督員	係長	課長補佐	課長

(本 旨)

本様式は、工事に必要な指示、承諾、協議等を迅速かつ的確に行うためのものである。

(作成上の注意)

- 1 該当する口内にレを記入すること。
- 2 確認欄には、押印又はボールペンでサインする。と。

様式は各所管の様式を使用してください！

記載例

工事施工協議簿

計画工程表受理時

<input type="checkbox"/> 指示、 <input type="checkbox"/> 承諾、 <input checked="" type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 提出、 <input type="checkbox"/> 報告、 <input type="checkbox"/> 通知 書 (第 〇 回)						
工事名		〇〇××線 道路改良工事				
工種、細目等						
<input type="checkbox"/> 指示、 <input type="checkbox"/> 承諾 <input checked="" type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 報告、 <input type="checkbox"/> 通知 事項	前回協議した、週休2日の計画工程表を提出します。					
	施工計画時における週休2日確保の確認資料として、休日等取得実績調書を提出します。					
<input type="checkbox"/> 添付資料名		<input type="checkbox"/> 図面 全 葉				
【工事監督員】		令和 6 年 〇 月 × 日				
上記事項について <input type="checkbox"/> 指示、 <input type="checkbox"/> 承諾、 <input checked="" type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 通知、 <input type="checkbox"/> 受理 する。						
<input type="checkbox"/> 特記事項						
例1) 計画工程表は妥当であり、週休2日が確保されていることを確認しました。						
例2) 計画工程表は週休2日は確保されていますが、現場閉所日が偏っているため、バランスをとった工程に調整願います。						
<input type="checkbox"/> 工事内容の変更の対象と <input type="checkbox"/> しない <input type="checkbox"/> する。						
【受注者】		令和 6 年 〇 月 × 日				
上記事項について <input checked="" type="checkbox"/> 了解しました。 <input type="checkbox"/> 承諾願います。						
<input type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 通知、 <input type="checkbox"/> 受理 します。						
<input type="checkbox"/> 特記事項						
確認欄	現場代理人	主任技術者	監督員	係長	課長補佐	課長

(本 旨)

本様式は、工事に必要な指示、承諾、協議等を迅速かつ的確に行うためのものである。

(作成上の注意)

- 1 該当する口内にレを記入すること。
- 2 確認欄には、押印又はボールペンでサインすること。

様式は各所管の様式を使用してください！

記載例

工事施工協議簿

履行確認時

<input type="checkbox"/> 指示、 <input type="checkbox"/> 承諾、 <input checked="" type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 提出、 <input type="checkbox"/> 報告、 <input type="checkbox"/> 通知 書 (第○回)						
工事名	○○××線 道路改良工事					
工種、細目等						
<input type="checkbox"/> 指示、 <input type="checkbox"/> 承諾 <input checked="" type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 報告、 <input type="checkbox"/> 通知 事項	現場閉所状況が確定したので報告します。					
	確認資料として、休日等取得実績調書を提出します。					
<input type="checkbox"/> 添付資料名					<input type="checkbox"/> 図面 全 葉	
【工事監督員】 令和 6 年 ○ 月 × 日 上記事項について <input type="checkbox"/> 指示、 <input type="checkbox"/> 承諾、 <input checked="" type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 通知、 <input type="checkbox"/> 受理 する。 <input type="checkbox"/> 特記事項 例1) 現場閉所率が4週8休を達成していることを確認しました。 例2) 現場閉所率が4週8休に満たないため、特記仕様書に基づき設計変更します。						
<input type="checkbox"/> 工事内容の変更の対象と <input type="checkbox"/> しない <input type="checkbox"/> する。						
【受注者】 令和 6 年 ○ 月 × 日 上記事項について <input checked="" type="checkbox"/> 了解しました。 <input type="checkbox"/> 承諾願います。 <input type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 通知、 <input type="checkbox"/> 受理 します。 <input type="checkbox"/> 特記事項						
確認欄	現場代理人	主任技術者	監督員	係長	課長補佐	課長

(本 旨)

本様式は、工事に必要な指示、承諾、協議等を迅速かつ的確に行うためのものである。

(作成上の注意)

- 1 該当する□内にレを記入すること。
- 2 確認欄には、押印又はボールペンでサインすること。

休日等取得実績調書

工事実施時・例

工事名 ○×線 道路改良工事

契約工期 2019年4月23日 ~ 2020年3月20日

対象期間 工事の始期 2019年5月7日 ~ 工事の完了日 2020年2月21日

2019年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
計画	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
2020年																																
1月																																
2月																																
3月																																

実施時の作業日(黒)は、この場合5月7日となる。

一時中止等、発注者があらかじめ履行の対象外としている期間は空欄とする。(対象期間外となる)

実施欄の作業日の始期および完了日と一致しているか確認

夏季休暇(8月13日~15日)、年末年始(12月29日~1月3日)は対象期間としない。
この期間を作業日とする場合は、その日数分を他の期間で対象期間外とする。(実施欄を空欄とする)
下記は、1月3日に作業を行い、その代休を同月14日に取得した例。

これが設計変更の対象となる履行状況。

実施時の対象期間完了日は、この場合2月21日となる。

〔凡例〕 ■:作業日 休:休工期 (空白):対象外期間

- ・休工期(休)の合計が、現場閉所日数となる。…①
- ・作業日(■)と休工期(休)の合計が、対象期間日数となる。…②
- ・右記の現場閉所率は、①/②により計算される。
- ・現場閉所率は、正確には、
4週6休以上: 6日/28日 = 21.428...%以上
4週7休以上: 7日/28日 = 25.000...%以上
4週8休以上: 8日/28日 = 28.571...%以上 のことなので、注意。

〔週休別現場閉所率〕

4週6休以上	4週7休以上	4週8休以上
4週7休未満	4週8休未満	4週8休以上
21.4%以上	25.0%以上	28.5%以上
25.0%未満	28.5%未満	

計画時エッジ 現場閉所率(%) = 現場閉所日数 / 週休2日確認対象期間 = 85日 / 288日 = 29.514%

OK

実施時エッジ 現場閉所率(%) = 現場閉所日数 / 週休2日確認対象期間 = 75日 / 273日 = 27.473%

4週7休以上-4週8休未満

週休 2 日モデル工事【現場閉所】の経費の補正について

○土木工事

週休 2 日による工事の発注を推進するため、必要な経費を計上する試行を行う。
計上方法は以下の通りとする。

1. 週休 2 日を実施する工事については、標茶町週休 2 日モデル工事実施要領(以下、「実施要領」という。)に示す「現場閉所率の算定方法」により、現場閉所率を算出し、対象期間における現場の閉所状況に応じた補正係数を各経費に乗じるものとする。

現場閉所の状況と、閉所状況ごとの各経費補正率は以下のとおり。

<現場の閉所状況>

4 週 8 休以上（現場閉所率が 28.5%（8 日／28 日）以上）の場合

<補正係数>

	現場の閉所状況（4 週 8 休以上）
労務費	1. 0 2
機械経費（賃料）	1. 0 2
共通仮設費率	1. 0 2
現場管理費率	1. 0 3

<市場単価補正係数>

- ①下記市場単価補正係数一覧による。
- ②北海道市町村土木積算システム（以下、「システム」という。）を使用して積算する場合、下記一覧のうち北海道建設部単価コード表に掲載されていない市場単価については、システムに対応していないことから、補正係数を乗じた単価を登録単価に計上し積算すること。なお、市場単価の週休 2 日補正済み単価の端数処理は、小数点第 3 位切り捨て 2 位止めとする。
- ③その他のシステム等を使用する場合は、その積算要領等に従い積算することとするが、下記補正係数を使用することは妨げない。

<市場単価補正係数一覧>

名 称	区 分	補正係数
		4週8休以上
鉄筋工		1.02
ガス圧接工		1.02
インターロッキングブロック工	設置	1.01
	撤去	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00
	撤去	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00
	撤去	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02
	撤去	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01
道路標識設置工	設置	1.00
	撤去・移設	1.02
道路付属物設置工	設置	1.01
	撤去	1.02
法面工		1.01
吹付砕工		1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.02
道路植栽工	植樹	1.02
	剪定	1.02
公園植栽工		1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02
橋面防水工		1.01
薄層カラー舗装工		1.00
グルーピング工		1.00
軟弱地盤処理工		1.01
コンクリート表面処理工（ウォータージェット工）		1.01

<土木工事標準単価補正係数一覧>

名 称	区 分	補正係数
		4週8休以上
区画線工		1.02
高視認性区画工		1.02
橋梁塗装工		1.01
構造物とりこわし工		1.02
	人力	1.02
コンクリートブロック積工		1.02
排水構造物工		1.02
鋼製排水溝設置工		1.02
表面被覆工（コンクリート保護塗装）	固定足場	1.01
	高所作業車	1.01
表面含浸工	固定足場	1.02
	高所作業車	1.02
連続繊維シート工	固定足場	1.02
	高所作業車	1.02
剥落防止工（アラミドメッシュ）	固定足場	1.02
	高所作業車	1.02
漏水対策材設置工	固定足場	1.02
	高所作業車	1.02
防草シート設置工		1.01
紫外線硬化型 FRP シート設置工（ポリエステル樹脂）	固定足場	1.01
	高所作業車	1.01
塗膜除去工		1.02
バキュームブラスト工		1.01
道路反射鏡設置工	設置	1.00
	撤去	1.02
仮設防護柵設置工（仮設ガードレール）		1.02
機械式継手工		1.02
抵抗板付鋼製杭基礎工		1.02
ノンクーキング式コンクリートひび割れ誘発目設置工		1.01
FRP 製格子状パネル設置工		1.00
侵食防止用植生マット工（養生マット）		1.02
支承金属溶射工		1.02
耐圧ポリエチレンリブ管（ハウエル管）		1.02

<下水道（管路）市場単価補正係数一覧>

名 称	規格・仕様	補正係数
		4週8休以上
硬質塩化ビニル管設置工		1.01
リップ付き硬質塩化ビニル管設置工		1.01
砂基礎工	人力施工	1.02
砂基礎工	機械施工	1.02
砕石基礎工	人力施工	1.02
砕石基礎工	機械施工	1.02
組立マンホール設置工		1.02
小型マンホール工		1.00
取付管およびます設置工	ます設置工	1.00
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工	1.01

2. 補正方法

当初予定価格から4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乘じ、工事着手前に週休2日に取り組むことについて協議が整った工事は、現場の閉所状況に応じて、4週8休に満たない場合は設計変更（減額補正）を行う。工事着手前に週休2日に取り組むことについて協議が整わなかった場合は、その時点で設計変更（減額補正）を行う。

○営繕工事

週休2日による工事の発注を推進するため、必要な経費を計上する試行を行う。
計上方法は以下の通りとする。

1. 週休2日を実施する工事については、標茶町週休2日モデル工事実施要領(以下、「実施要領」という。)に示す「現場閉所率の算定方法」により、現場閉所率を算出し、対象期間における現場の閉所状況に応じた補正係数を核経費に乗じるものとする。

現場閉所の状況と、閉所状況ごとの各経費補正率は以下のとおり。

<現場の閉所状況>

4週8休以上(現場閉所率が28.5%(8日/28日)以上)の場合

<補正係数>

	現場の閉所状況(4週8休以上)
労務費	1.02

2. 補正方法

当初予定価格から4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乘じ、工事着手前に週休2日に取り組むことについて協議が整った工事は、現場の閉所状況に応じて、4週8休に満たない場合は設計変更(減額補正)を行う。工事着手前に週休2日に取り組むことについて協議が整わなかった場合は、その時点で設計変更(減額補正)を行う。

週休 2 日モデル工事【交替制】の経費の補正について

週休 2 日による工事の発注を推進するため、必要な経費を計上する試行を行う。

対象工事は、土木工事のみとし、社会的要請や時間的な制約などにより現場閉所を行うことが困難な工事とする。

計上方法は以下の通りとする。

1. 週休 2 日を実施する工事については、標茶町週休 2 日モデル工事実施要領（以下、「実施要領」という。）に示す休日率を算出し、対象期間における現場の休日状況に応じた補正係数を労務費及び現場管理費に乘じるものとする。

現場の休日状況と、休日状況ごとの各経費補正率は以下のとおり。

<現場の休日状況>

4 週 8 休以上（現場閉所率が 28.5%（8 日／28 日）以上）の場合

<補正係数>

	休日率の状況（4 週 8 休以上）
労務費	1. 0 2
現場管理費率	1. 0 1

2. 補正方法

当初予定価格から 4 週 8 休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乘じ、工事着手前に週休 2 日に取り組むことについて協議が整った工事は、現場の休日状況に応じて、4 週 8 休に満たない場合は設計変更にて上記補正を行う。ただし、4 週 6 休に満たなかった場合や、工事着手前に週休 2 日に取り組むことについて協議が整わなかった場合は、上記補正を行わない。

平均休日日数の割合（休日率）の算出シート

No.	会社名	氏名	着手日から 完成日まで の日数	休日日数	休日日数 の割合	平均
1	株式会社 ○×△	山田 太郎	126	36	28.6%	29.3%
2	株式会社 ○×△	川田 次郎	126	38	30.2%	
3	株式会社 ○×△	山川 三郎	126	36	28.6%	
4	□×建設 株式会社	田山 一郎	100	30	30.0%	
5	□×建設 株式会社	田川 二郎	100	29	29.0%	
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

下請業者の場合は下請契約期間内の現場作業開始日から終了日

週休 2 日モデル工事における施工成績評定の取り扱いについて

検査員は、受注者が週休 2 日の施工を履行できた場合、施工成績評定において加点評価を行うこととする。

履行が確認できた場合とは、「4 週 8 休確保」を行った場合をいう。

検査員は以下の手順により評定を行うこと。

(成績評定における加点項目)

「8 その他」の措置内容欄に評価理由「週休 2 日の確保を行った。」を記載し、加点評価（プラス 1 点）を行う。